

第2回 しが低炭素リーダー賞（概要）

【表彰】

「しが低炭素リーダー賞」は、は受賞事業者・団体によるCO₂削減のノウハウを県内各事業者・団体が広く共有することで滋賀が低炭素社会へ先進的に移行するとともに、環境と調和した滋賀県経済の成長を促進することを目的に設置されました。

①社会のCO₂排出量削減に寄与する製品やサービスを提供する事業を表彰し、事業拡大を支援する「**低炭素化事業部門**」と②「**削減取組部門**」の2部門からなります。

期間中にのべ27社、28件の応募があり、選考審査会で厳正に審査の結果、「低炭素化事業部門」4社、「削減取組部門」8社が第2回「しが低炭素リーダー賞」に選ばれました。

滋賀エコ・エコノミープロジェクトは今後、「低炭素化事業部門」受賞企業に対し社会のCO₂排出量削減に寄与する製品やサービスを提供する事業の拡大を支援し、「削減取組部門」受賞企業・団体に対して展開中のCO₂排出量を削減する先進的な取組みを広報面でそれぞれ支援します。

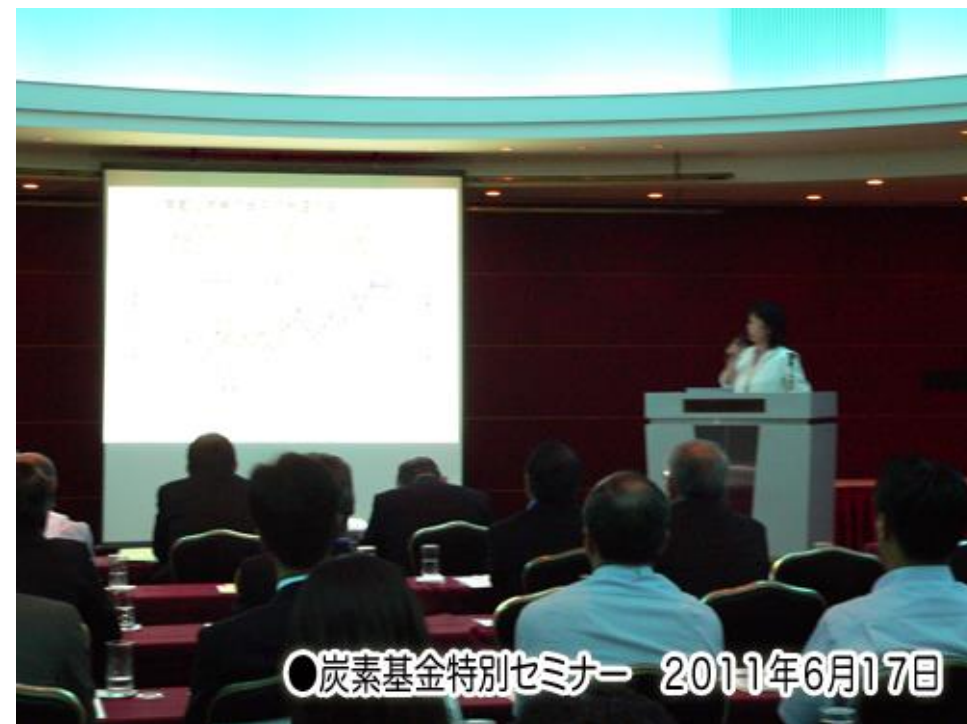
尚、今回の受賞先への表彰状は森林づくりの過程で出る滋賀県産ヒノキの間伐材を使用して作成しています。



しが炭素基金特別セミナー開催（概要）

【講演会】

表彰式に引き続き「しが炭素基金特別セミナー」を開催、龍谷大学経済学部教授・増田啓子氏に「しが 現れている温暖化の影響から低炭素社会づくりをめざす」を題として講演いただきました。



低炭素化事業部門 4先

表彰先事業所名	所在地市町名	取組み事業の概要
長岡産業(株)	大津市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 液晶ディスプレイ「高機能フィルム用クッションコア プラマキシン」(展示会への出展) ・従来のコアと比較した場合、フィルに発生する段差痕は1/4~1/10となりロスが削減されるため、コストと共にCO₂の削減にも効果がある、高機能フィルム用巻き芯「プラマキシン」について、フィルムメーカーの集結する展示会へ出展するための経費助成を希望。
(有)宮川石油	犬上郡豊郷町	<ul style="list-style-type: none"> ○ 官民電気自動車(EV)カーシェアリング事業 ・電気自動車について、平日は豊郷町役場公用車としての利用に供し、土日祝日はEVレンタカーとして地域住民、観光客など広く一般の方々に利用していただく事業について経費助成を希望。
(株)大林環境技術研究所	近江八幡市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人工土壌Eソイルを用いた「しがぎん浜町研修センター屋上緑化」 ・これまで石油を使用して焼却処分されていたスギ・ヒノキ樹皮を主材にする環境保全型軽量人工土壌「商品名:Eソイル」の開発・商品化に成功し、CO₂削減効果の大きい工法により、しがぎん浜町研修センターの屋上緑化を行ったことから応募。
北村工務店 匠堂	米原市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低炭素住宅の販売 ・省エネ住宅である長期優良住宅と太陽光発電・県産材を組み合わせた低炭素住宅の販売、提案について、低炭素住宅をある程度規格化することにより、一般住宅を建築するのと同じコストで低炭素住宅が取得できるモデル事業を行うにあたり、啓発・広告等のための経費助成を希望。

削減取組部門 8先

表彰先事業所名	所在地市町名	取組み事業の概要
新旭電子工業(株)	高島市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2006年よりボイラーの更新とインバーター化、チラーのヒートポンプ化を実施。 ・ エアコンやコンプレッサーを省エネタイプのものに取り替えるなどの取組みで消費電力を削減。2000年から廃棄物の分別収集に取り組んでいる。
アサヒビールモルト(株)	野洲市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2006年、アサヒグループで最初にエコアクション21認定取得。 ・ 燃料を灯油から都市ガスに変更、廃棄物の発生抑制、冬季に外気を取り込み冷凍機の負荷を低減などでCO2排出量を削減。 ・ 社員の意識改革、美化活動や勉強会などの総合的な低炭素化に取り組んでいる。
株式会社 平和堂	彦根市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新規出店店舗や改装店舗の空調・冷蔵冷凍・照明などを最新の省エネ設備を導入。 ・ 全店舗で節電・空調点検を毎日2回実施することでCO2排出量を削減。 ・ 2002年比で2010年には24%削減達成。
キリンビール(株) 滋賀工場	犬上郡 多賀町	<ul style="list-style-type: none"> ○ 下記の取組みによりCO2排出量を削減している。 ・ 蒸気製造用燃料をA重油から都市ガスに転換することでCO2排出量を削減。 ・ 麦汁を煮沸する工程で発生する水蒸気を回収し、熱源として再利用することで燃料由来のCO2を削減。 ・ 好気処理排水設備を嫌気処理排水設備にすることで、電力由来のCO2を削減し、また嫌気処理で発生するメタンガスを燃料として利用することで燃料由来CO2を削減。 ・ 設備の要求温度にあわせて冷凍機を分散配置する冷凍システムを採用し、冷凍機の負荷を低減させるとともに電力由来CO2を削減。
京セラ(株) 滋賀蒲生工場	東近江市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 里山整備事業による間伐材の循環利用をはじめ、下記の活動に取り組んでいる。 ・ 東近江市と提携し、車移動のところを電動アシスト付自転車に変更。 ・ ゴーヤカーテンで窓、壁を覆うことによって夏場のエアコン使用を抑制。 ・ 毎週金曜日のノーマイカーデーの実施。 ・ 建物の屋根にソーラーパネルを設置し、発電。 ・ 従業員の家庭や社員食堂から出る廃食油を東近江市に委託してバイオディーゼル燃料として利用。
近畿環境保全(株)	草津市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 下記の取組みによりCO2排出量を削減している。 ・ 廃棄物の分別回収を進めることで資源のリサイクル率を高める。(平成22年4月末現在、リサイクル率74%) ・ 内モンゴルでのカラマツ植林。 ・ 回収した廃食油から生成されたバイオディーゼル燃料の使用。 ・ バイオマスによるグリーン電力の利用。 ・ 平成21年「滋賀県森林づくりパートナー協定」を三雲生産森林組合と締結し、5年間森林づくりの費用と労働力を提供する。
エコヤードルートワン(株)	甲賀市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃木材を100%リサイクルすることで、焼却処理により発生するCO2をゼロにする。 ・ 廃木材はその質や形状によって、再生紙、バイオマス燃料、ボード、肥料など、最適な製品にリサイクルされ、様々な場面で利用される。 ・ 平成17、18年には製品が滋賀県リサイクル製品に認定された。
栗東市商工会	栗東市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栗東フォレスト倶楽部プロジェクトを展開している。 ・ 平成21年に「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を金勝生産森林組合と締結し、森林整備や植林事業などに取り組んでいる。 ・ 中小企業に協賛をよびかけ、協賛金を森林整備活動に充てる。協賛企業にはインセンティブを付与する。(今年度具体化予定) ・ 森林整備事業を教育の場として利用する。 ・ 競馬ファンをターゲットにした観光ツアーの実施や、名産の栗を利用した特産品の開発などの経済活動も行っている。